

「新しい公共」に必要な市民金融 のしくみ

NPOバンク連絡会 理事長 田中 優

NPOバンクの設立動機

平成22年10月8日

全国銀行協会

クラスター弾に関する条約の発効を受けた銀行界としての取組みについて

本年8月1日、わが国ではクラスター弾等の製造禁止や所持の原則禁止を定めた「クラスター弾等の製造の禁止及び所持の規制等に関する法律」が施行された。

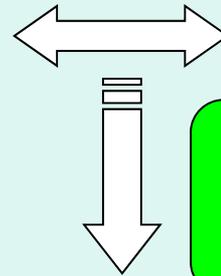
今般、上記法律が施行されたことを踏まえ、本行動憲章の精神に則り、銀行業務の公共的使命の重みを認識するとともに、「良き企業市民」としての社会的責任に鑑み、クラスター弾の製造を資金用途とする与信は、国の内外を問わず、これを行わないことを申し合わせる。 以上

口で表現したことは現実にならない。カネをどこに預けたかで現実は決まる。未来のための貯蓄のはずが、未来を台無しにしてきた。おカネの融資先を市民自身がコントロールすることが必要だ。

「新しい公共」とは何か



政府以外は
すべてNGO
になる



産業以外は
すべてNPO
になる

- 社会を三つの主体に分けて考えてみると



三つ目の「非政府」で「非営利」のセクターがあり得る。これが市民セクターになる

三つの社会セクターのチェックアンドバランス を実現する

市民社会の構成図



行政が不親切で効率が悪いのなら、市民がNPOとして事業を受託しよう

産業が金儲け主義で低廉なサービスを提供しないのなら、市民が事業を起業しよう

- その実現に必要なのが非営利の市民事業だが、社会制度が追いついていない。特に金融の仕組みが必要だ。

「NPOバンク」の進展

新潟には「新潟
コミュニティーバン
ク」がある。

北海道には
「北海道NPO
バンク」がある。

長野には
「NPO夢バンク」
がある。

東京には「未来バンク」
「東京コミュニティーパ
ワーバンク」「ap bank」「生
活サポート東京生活協同組
合」がある。

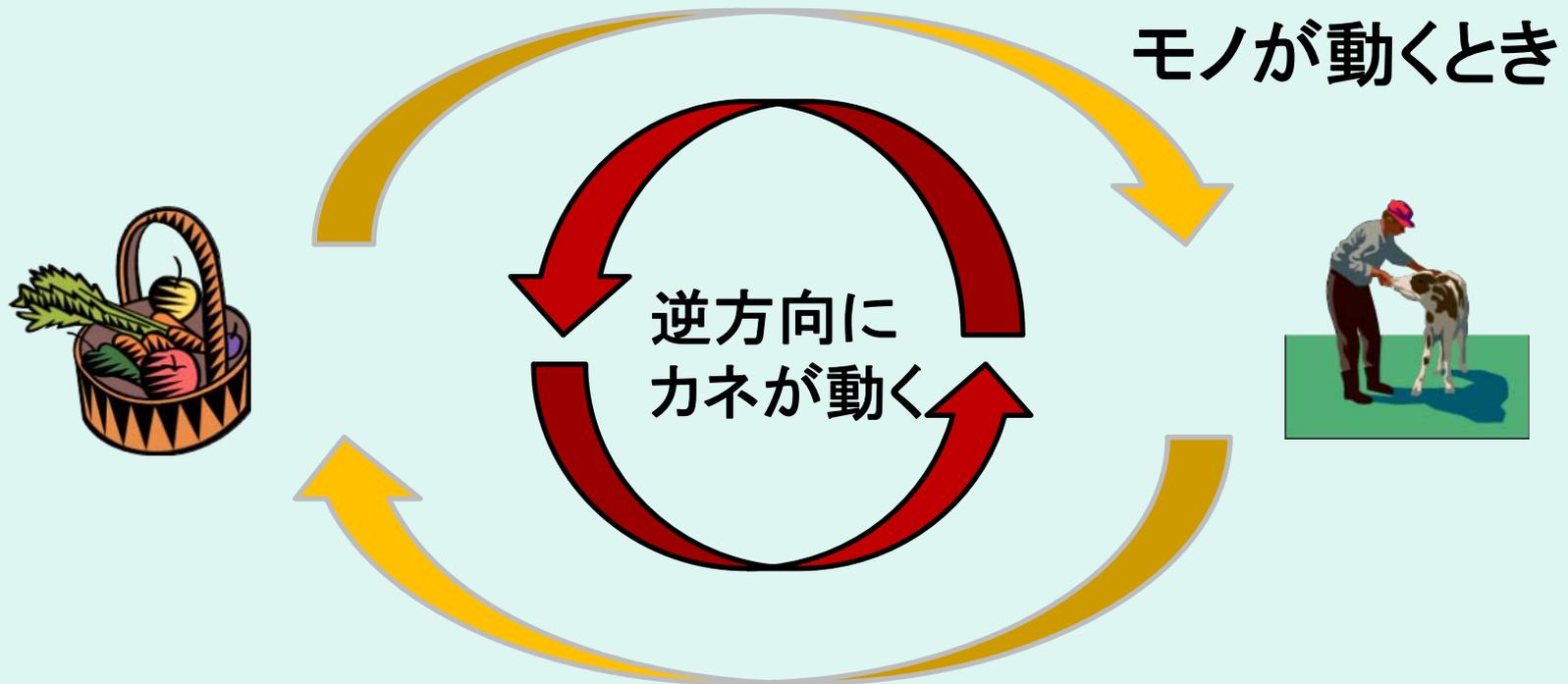
福岡にも「もやい
バンク」が設立さ
れ、宮崎、熊本に
も設立準備中。

名古屋に「コミュニ
ティー・ユースバン
クmomo」、大阪に
は「ツルミ・ヒュー
マン・バンク」がある。

神奈川には「女性・市民
コミュニティーバンク」が
ある。

- これ以外にも別な目的のための「岩手信用生協」や「日本共助組合」生活サポート生協東京、グリーンコープ生協の生活再生事業などがある。
- 福島には「ふくしまNPOバンク設立研究会」、金沢には「ピースバンクいしかわ」が設立準備中。

地域経済は「資金量 × 回転数」



- 地域経済は「地域の資金量 × 回転数」で測ることができる。
- 地域に資金を残し、回転数を高めればよい。

資金をどこで回転させるか



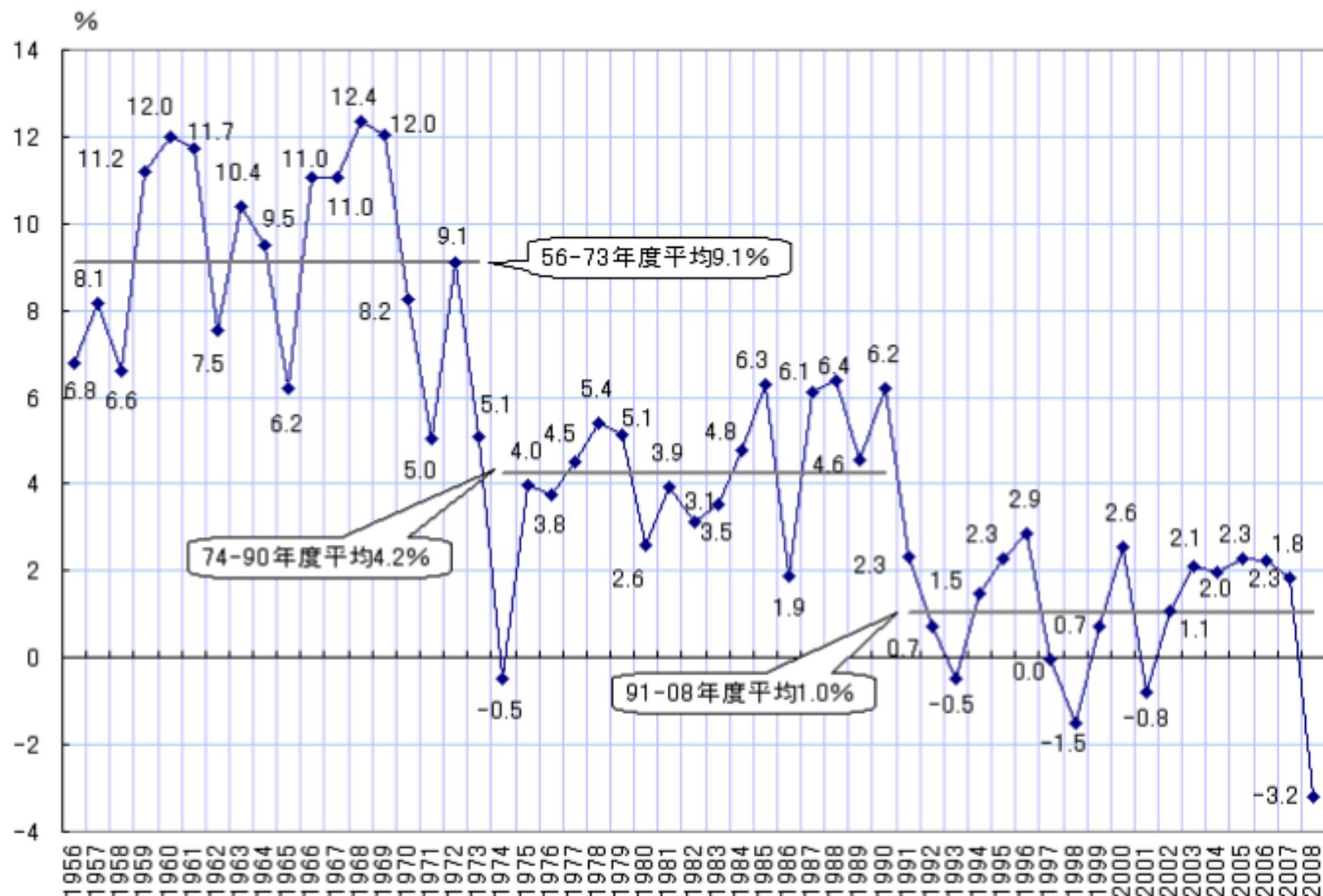
© 2002 ALPS Mapping Co.,Ltd.

- 資金が地域で回転すれば、地域経済を活性化させる。
- 資金が国内で回転すれば、国内を活性化させる。
- 海外に流出すれば、活性化につながらない。

足立区東和商店街の試み

- 学校給食の民営化の際に業務を受託した。現在は30校を超える給食を受託している。
- その食材はすべて地域の商店街から供給される。そのため、商店街は生き残ることができている。
- また、田中会長は足立区内の連合商店街の会長として足立区に交渉した。従来の敬老祝金を現金に変えて、「地域の共通商品券」を発行させた。しかもやや多めにして。
- その結果、毎年4億円が地域の商店街に回るようになった。

経済成長率の推移

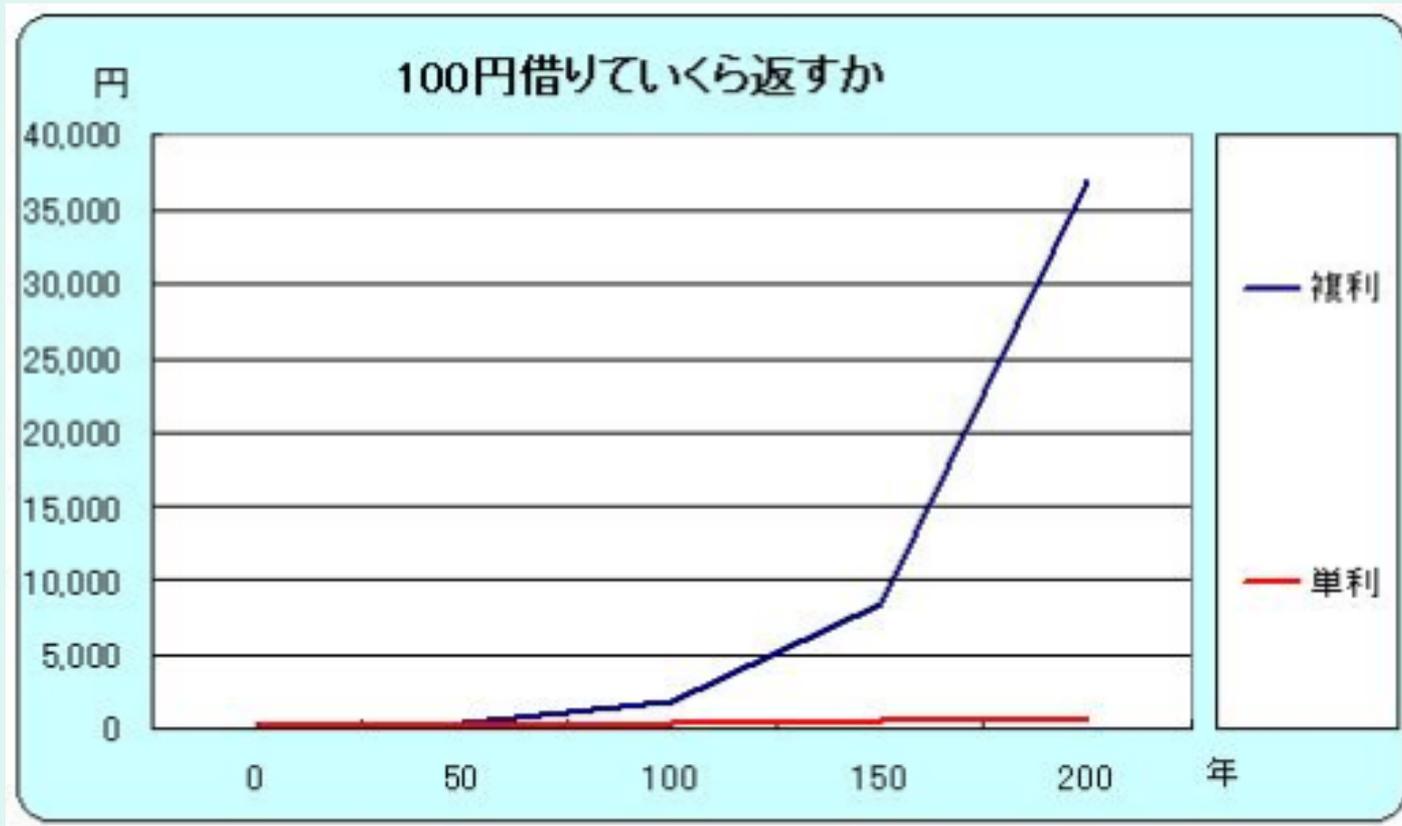


(注) 年度ベース。93SNA連鎖方式推計ベース (GDP80年度以前は63SNAベース)。

平成21年4-6月期 2次速報値 <平成21年9月11日公表>。平均は各年度数値の単純平均。

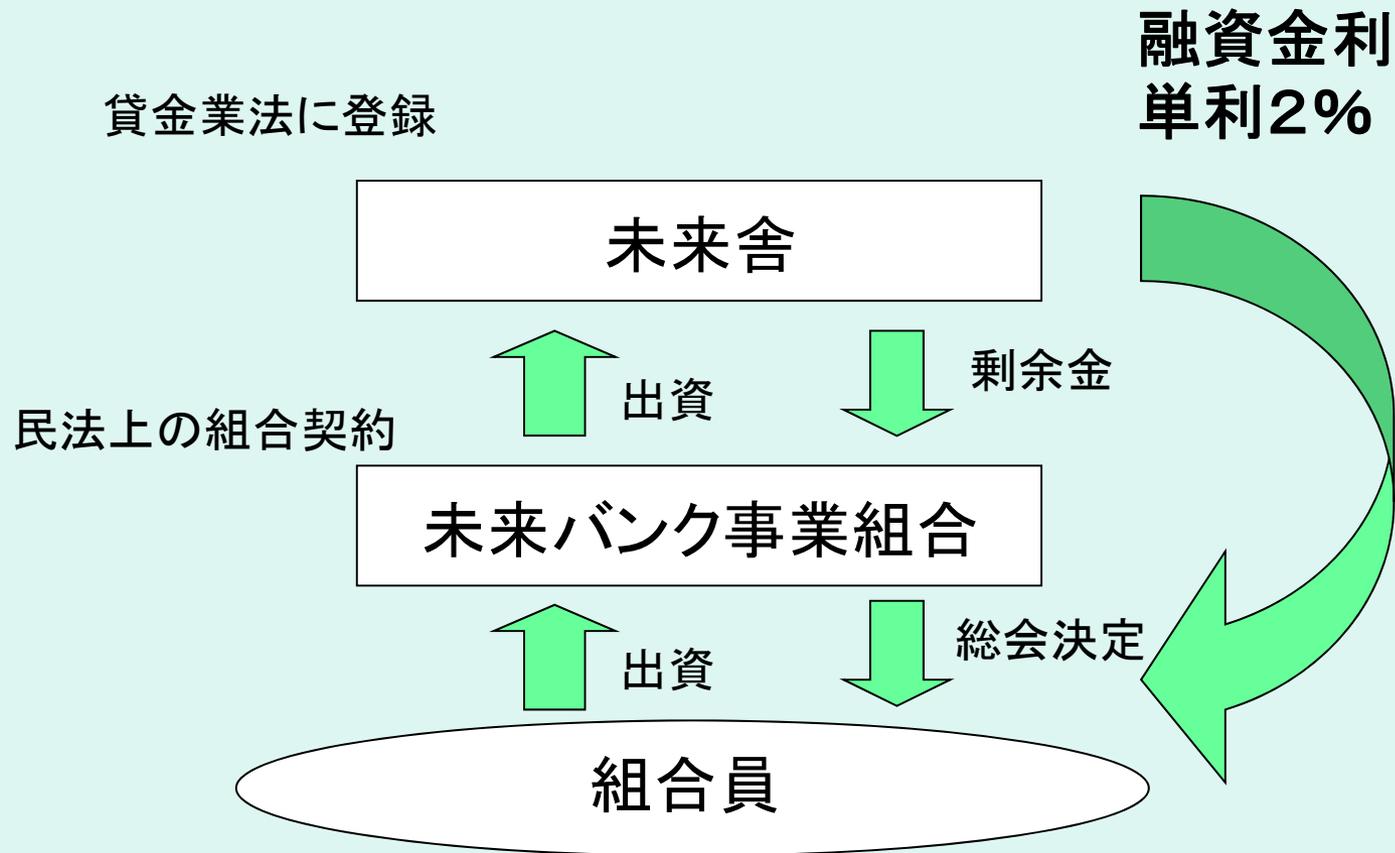
(資料)内閣府

単利と複利の差



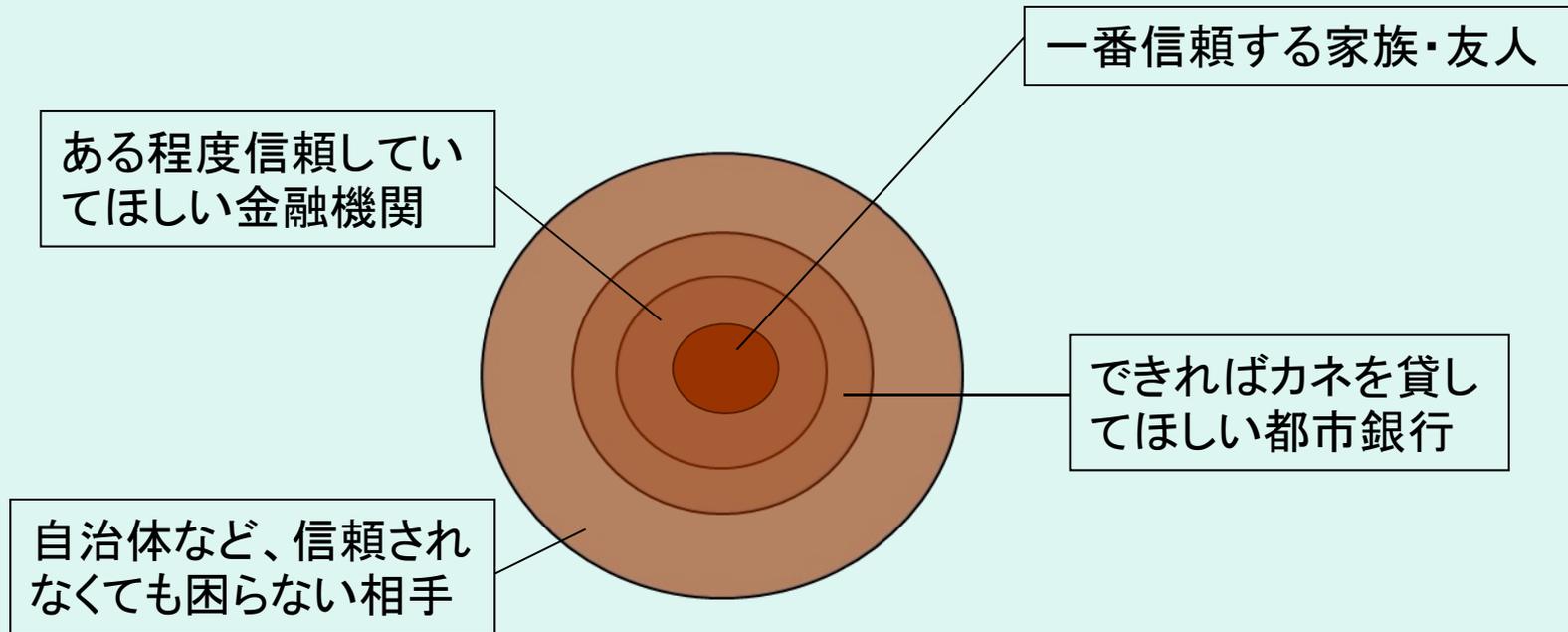
- 単利と複利で最初は差がないが、無限を前提とする複利はどんどん支払が増えていく。
- 自然は単利でしか成長しないが、経済は無限が前提の複利になっている。

100万円の寄付は無理、でも出資なら可能



- 未来バンクは組合員の出資を組合員にだけ融資する閉じた組織。
- 剰余金は配当せず、事業準備金と金利の低減のために用いるよう、総会で決定している。

貸倒リスクを下げているのは「信頼の年輪」



- したがって、返済されるためには信頼の内側に入り込むことが重要。未来バンクの場合は、目的を明瞭にすることにより信頼を得られるようにしている。自治体が出資した場合、この点に問題が出る。
- 一方ap bankでは、融資対象をホームページで公開する他、返済状況も公開する契約で融資している。
- そのように、信頼の輪の内側に入ることが返済を確実にするのであって、不動産や財産を担保することではない。

融資審査の【原則】

- 合目的性・・・目的が未来バンクの求めるものに合致しているのか。
- 要件1・・・プランは社会的に有益か、逆の効果は起こらないか。他からの融資可能性は。
- 要件2・・・経済的に実現可能か、経営的に問題はないか、収益性はあるのか。
- 要件3・・・リスクを負担しているか、その覚悟ができているか。
- 人物・・・信頼に足る人物か。

それまで融資を受けられなかった女性の事業



- 「子育て支援事業」以前からあった、母を支援する活動。密室の母子が交流することで安心して育児できるようになる。
- 写真は江戸川区にある「東京ベーター」より。

融資を受けられないNPOに融資する

団地から出された生
ごみをバイオガスに
し、残った液体肥料
を有機農業に使う



団地から集めたゴミが、都市ガスと同じメタンガスと液体状の堆肥（液肥）になる。

その後、福岡県大木町のごみ処理が実現



生ごみも回収し、その結果町のごみは44%も減った。

融資を受けられない社会企業家に融資する





結果、耕作放棄地が3週間で復活。画期的な解決策が生まれた。



枝もペレットにする

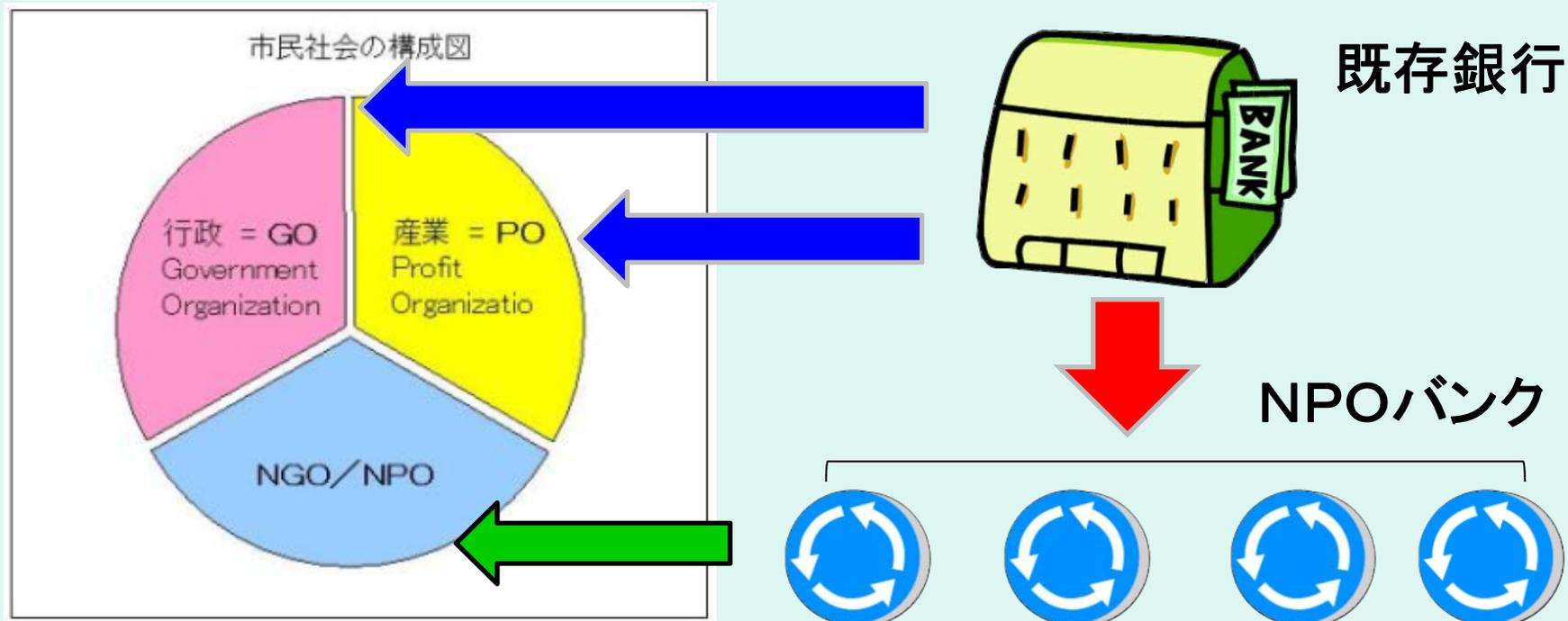


新潟、さいかい産業のペレットストーブ



- バーク(木の幹の皮)他、ペレットの種類を問わず使え、燃焼効率は世界一。
- これが広がれば地域の森は復活し、地域経済は活性化できる。

既存金融機関との協調は可能か

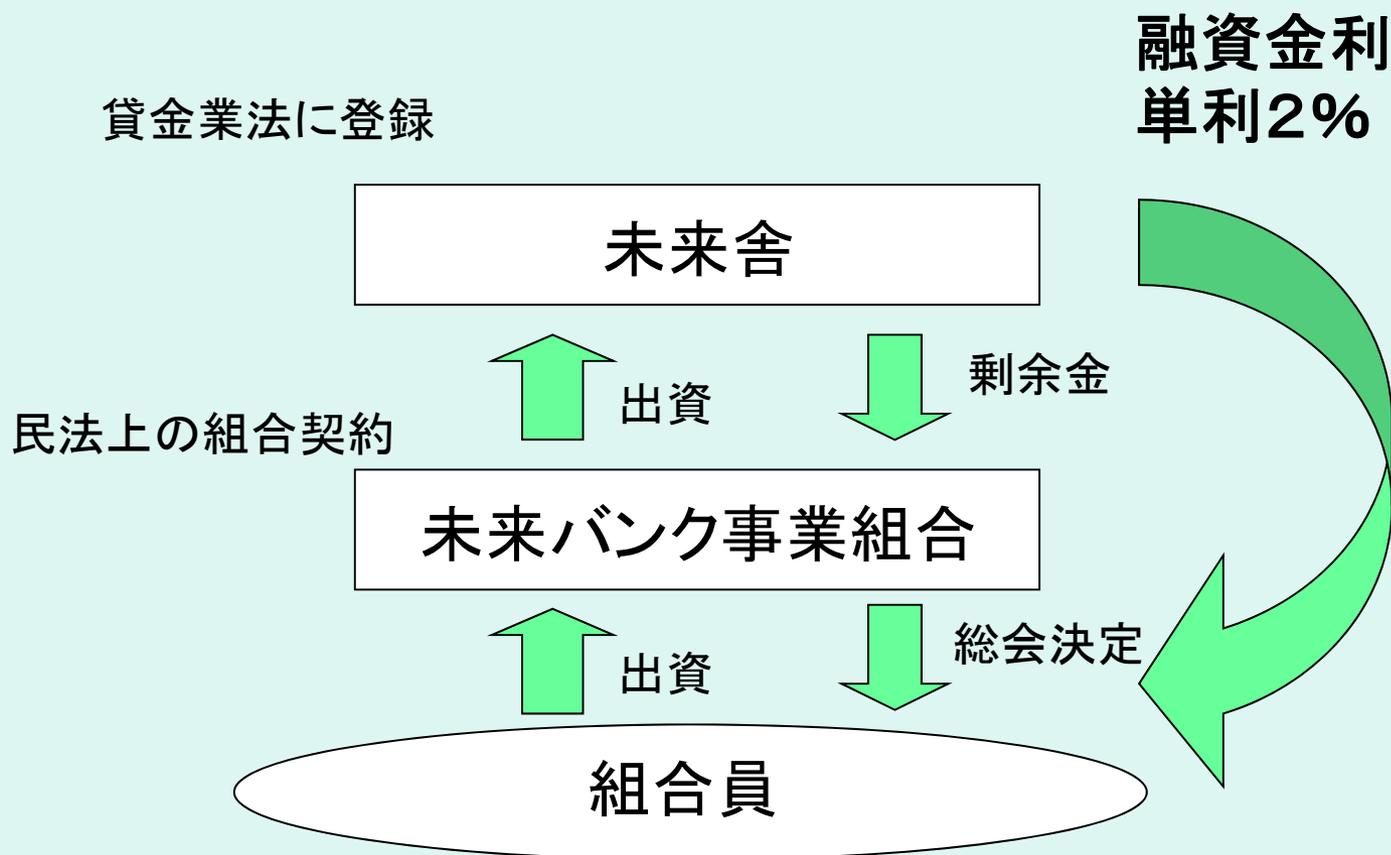


- 「新しい公共」のターゲット層は第三セクターではないか。融資リスクは高い一方で、見えない支持が背景にある。
- それを解決するのが「信頼の年輪」「趣旨」「地域化」だろう。
- 第三セクターへの融資を協働してはどうか。

NPOバンク成長への課題

- NPOバンクはかつての「講」に対応する。
⇒もっと自由に活動させるために規制を緩和すべき。
- NPOバンクは「新しい公共」に対応する。
⇒新しい公共、第三セクター育成のために、他の金融機関以上に手厚く支援すべき。
- しかし規制が強く、特に地方での設立が困難。
⇒事前規制より、事後的な刑罰で対応してはどうか。
- 出資金持ち逃げなど、リスクはある。
⇒NPOバンク連絡会に登録している団体は、当連絡会で規制することも可能。

非営利で、閉じたバンクを規制除外に



- 非営利目的なので、出資者がだまされる可能性は低い。
- 閉じた構造なので、他への影響は少ない。
- 貸金業法の適用除外を求めたい。